



肥塚 康子 議員  
YASUKO KOEZUKA



女性支援の充実と男女共同参画・女性活躍について

**問** 女性が置かれていて環境はジェンダー平等とはほど遠く、その問題解決のため本年四月に困難を抱える女性のための「女性支援新法」が施行された。それに対する本市の対応、また男女共同参画・女性活躍についての考えを問う。

**答** 女性相談の窓口、相談体制の確保、女性相談支援員について女性が抱える問題は多岐にわたるので、各担当課で専門的な窓口を設けてその解決を図っている。

**問** 外国人女性への支援について

**答** 外国人の女性であっても、区別なく支援を行っている。また、日常生活の支障に関しては多文化共生サポートセンターが支援を行っている。

**問** 女性支援新法に基づく市の具体策について

**答** 困難な女性が抱える背後にある問題を十分把握し、支援体制を



整備する必要があると考える。

**問** 男女共同参画推進プランにおける成果と現状に対する課題と意識改革について

**答** 審議会等委員会への女性委員の比率はプラン設定時に比べて4%増え25%となっている。男性の育児休暇の取得も浸透してきているが仕事と家庭の両立・キャリア形成支援、無意識の思い込みの気付きなどの意識改革が必要と考える。

**問** 女性活躍のための市の取り組みは十分と考えるか

**答** 女性のためのセミナーなどを開催している。これからもセミナー等を開催し男女共同参画推進に取り組んでいく。



**問** 男女共同参画の拠点施設の設置について

**答** 現在人権推進課でこの機能を担っているが、拠点施設の設置については今後、調査・研究を進めていく。

その他の質問事項

● 生理痛や更年期障害など、女性特有の体調不良による休暇について

未来のたつの市のために創造性を発揮したチャレンジを!



和田 美奈 議員  
MINA WADA



学校園等の跡地施設の利活用

**問** 民間活用されている空き園舎は1つと大変少ない状況だが、ホームページ等でどのような施設が空いているかがわかるようなものは提示されているのか。

**答** そのようなものはなく、直接、窓口相談となる。現在空いている9つの園舎については、調整区域等があり、使用に際しては厳しい制限があるため、民間活用が進みづらい状況であるため受け身の状態になっている。

**問** 今後、新宮地域でも空き校舎が増えるため、スケジュール、地元との協議も含めて、積極的に活用していく姿勢を見せることが必要だと感じるがどうか。

**答** 全国的なマッチングサイトである「公共R不動産」等も研究し、利活用を進めていきたい。また、新宮地域小中一貫校整備に伴う閉校を契機とし、今年度「学校等跡地利用に特化した基

本方針」を策定し、全庁横断的な推進体制のもとスケジュールを含め、個々の施設ごとに基本計画や実施計画を策定していく。

空き家の利活用

**問** 空き家相談センターが民間委託を取りやめ、市の「まちづくり推進課」で受けることとなったが、発展するための変更か。

**答** 5年が経過し、新規の申し込みが減少している状況であったため、新たな方策を考えていく時期がきていると考えた。

**問** さらにマッチングが進むための方策は考えているか。移住を考えている方は、まずは借りて住んでみたいという希望があるが、空き家を持つている方はすぐにも売りたい方が多く「賃貸」が少ないところにミスマッチがあると感じるがどうか。

**答** 本年度、移住マッチングWEBサービスを開始した。お試し移住については、空き家バンク利用登録者で市外の方に聞き取りを行い、希望があれば空き家登録者とのマッチングを検討していきたい。

その他の質問事項

● 予防接種健康被害救済制度について